

ギボン 日本オープンスラックライン選手権大会 実行委員会  
(Gibbon Slacklines、二子玉川ライズ)  
2021年10月

プレスリリース

報道関係各位

**「第11回 ギボン 日本オープンスラックライン選手権大会」今週末に開催**

～ 2年ぶり！全国から注目選手が二子玉川ライズ 中央広場に集結 ～

ギボン 日本オープンスラックライン選手権大会 実行委員会は、2021年10月23日（土）・24日（日）に「第11回 ギボン 日本オープンスラックライン選手権大会」（以下「同大会」）を、二子玉川ライズ 中央広場（東京都世田谷区）にて開催することを発表いたします。

**＝ スラックラインとは ＝**

スラックラインとは、幅5cmの綱の上で歩いたり跳んだりポーズを決めたりといった演技を行うライフスタイルスポーツです。2009年に日本に上陸すると迫力満点で見応えがあるため、アクロバティックな演技を披露するトリックラインが一躍注目の的となりました。現在ではアクロバティックな技を楽しむだけでなく、年齢や性別などの制限無くバランスやインナーマッスルを鍛えることができる道具として、学校やフィットネスジム、アスリートのトレーニングや理学療法にも取り入れられています。世界中に300万人以上の愛好者がいると言われ、近年はテレビや雑誌などで取り上げられる機会も多く、認知度も高まりを見せています。



**＝ ギボン 日本オープンスラックライン選手権大会 ＝**

このスラックラインのトリック部門で日本最高峰の競技会であり、スラックラインの歴史の中で最も長く続く大会が同大会です。同大会は完全招待選手制で、例年は国内外の注目選手やトップクラスの選手が大会実行委員会によって集められますが、第11回大会は感染症対策規制のため海外選手の入国が難しいため、国内トップ選手のみでの開催となります。日本全国で活躍する選手が一堂に会し、日本国内では他に類の無いハイレベルでエキサイティングな戦いが繰り広げられます。

- **大会名**：第11回 ギボン 日本オープンスラックライン選手権大会
- **開催日時**：2021年10月23日（土）・24日（日）
- **開催場所**：二子玉川ライズ 中央広場（東京都世田谷区玉川 2-21-1）
- **過去優勝者**（男子オープンクラス）：2020年 不開催／2019年 木下晴稀（日本）／2018年 Alisson Ferreira(Brazil)／2017年 Pedro Rafael Marques(Brazil)／2016年 Alex Mason(USA)／2015年 田中輝登（日本）／2014年 Jaan Roose(Estonia)
- 雨天や荒天のため、実行委員会により競技続行が困難と判断された場合は、「iTSCOM STUDIO & HALL 二子玉川」（大会会場横）において、出場選手によるスタティック競技のエキシビションに変更となります。

◀ この件に関するお問い合わせ ▶

ギボン 日本オープンスラックライン選手権大会 実行委員会

担当者：小倉 一男（オグラ カズオ）

〒104-0033 東京都中央区新川 2-5-9-2F アルゴアクティブ株式会社 内

TEL：03-6228-3760 / FAX：03-6228-3762 / E-mail：[info@gibbon.co.jp](mailto:info@gibbon.co.jp)

FAX : 03-6228-3762 / E-mail : [info@gibbon.co.jp](mailto:info@gibbon.co.jp)

貴社名	
ご担当者様名	
連絡先 (携帯電話番号)	
取材ご希望日	23日(土) ・ 24日(日) ・ その他 ( 事前 / 後日 )
取材クルー人数	
カメラ台数	
露出予定の媒体名・番組名 等	
OA・掲載予定 (時期) 等	
取材対象者 (特にあれば)	
インタビュー希望の有無 (具体的なご希望など)	
その他 ご希望など	

大会の取材は会場の都合により、事前申込制とさせていただきます。申込書 (当用紙) へ記載いただき、10月22日 (金) までに Fax をご返信いただくか、必要事項をメールでお送りください。

- ※ 未定の事項については、空欄 または 予定の情報で結構です。
- ※ 原則として、取材行為は競技エリアの枠内でお願いいたします。  
その他の場所での撮影をご希望される場合は、必ず「その他」欄に具体的な場所をご記入ください。許可のない場所での撮影はご遠慮いただいております。
- ※ インタビューエリアを設けています。インタビューエリアでのインタビュー可能な時間に制限がありますので、ご希望の方は大会本部へご申告ください。
- ※ 【会場を見下ろす渡り廊下】での三脚を使用した撮影を希望される場合は、必ず大会本部へ事前にお知らせください。